



VOL.45

「桂川っ子」の文字は、
 桂川中学校美術部員が
 デザインしたものです。

不審者対策と挨拶・声かけ

桂川町教育委員会

教育長 穂坂 和義

小・中学校保護者の家庭には、学校からお知らせ等があったことと思いますが、最近、桂川町内にも不審者が出没しているようです。

去る11月29日の午前8時ごろ、嘉穂総合高校付近を登校中の女子中学生が、また10月にも桂川小学校のわき道をクラブの練習でランニング中の女子中学生が不審者に遭遇するという事件が発生しています。幸い2件とも他の生徒が来たので大事には至りませんでした。このようなことは嘉麻・飯塚・桂川地区だけでも10月以降に十数件も発生していますので油断はなりません。

以前から、暖かくなってくるとこのような不審者・変質者が出るという話を聞いたことがあります。最近では季節は関係ないようです。出没时间帯も夕方から夜半にかけてとは限らないようですので厄介です。

被害者はほとんどの場合中学生以上の若い女性ですが、全国的には幼児や小学生も、そしてときには男子児童も被害に遭っています。

学校では、平素から子どもたちにも不審者対応について指導しておりますし、地域の方にも「子ども110番の家」への協力をお願いし、町補導員会には町内巡回もしてもらっています。

そこで、さらなる対策として町民の皆様にご協力をお願いしたいことがあります。ご存じのとおり、桂川町は現在「生き生き桂川っ子」推進協議会を中心に、あいさつ・声かけ運動を展開中です。この運動を広めることも兼ね、ご家族やご近所の方と子どもたちの登下校時間帯に散歩(巡視)はいかがでしょうか。そして、子どもだけでなく、見知らぬ方にもあいさつや声かけをしていただけたらと思います。

不審者や空き巣狙いなどは、自分の顔や服装などを知られることを恐れますので、これは大きな抑止力となります。

スポコン

桂川小学校 校長 藤田 季弘

「校長先生！ 見てください！」
 昼休みに、子どもたちの元気いっぱいの声が聞こえてきました。運動場で大縄跳びをしている子どもたちです。

本校では、現在、全校で『スポーツコンテスト(スポコン)』に取り組んでいます。これは、全学年が4種目(ボール投げ・手くぐり・馬跳び・大縄跳び)で、回数やタイムなどを競うコンテストです。どの子どもも、最低2種目は出場できるように工夫しています。冒頭の子どものように、毎日、休み時間や昼休みに、一生懸命練習している姿があります。



一般的に子どもは、遊びを通して社会の決まりを学ぶと言われています。どの種目も一人ではできません。『協力』が必要です。必死になつて練習している中にも大切な学習内容が含まれているように感じます。また、より多くできたという結果も大事ですが、日一日と進歩している実感を味わわせることも大切にしています。

本校の目指す子ども像である『耐力的な子』にまた一歩前進しつつあることを実感しました。

表題の『スポコン』は、12月9日に参観日として、保護者の方に見ていただきました。